

事業計画書様式 2 - (1)

(平成 19 年度)

横浜市 桜ヶ丘コミュニティハウス 指定管理者事業計画書			
作成年月日 平成 19 年 3 月 15 日			
団体名	保土ヶ谷区区民利用施設協会		
代表者名	橋本 淳	設立年月日	平成 7 年 4 月 1 日
団体所在地	横浜市保土ヶ谷区西谷町 9 1 8 番地		
電話番号	045-370-5231	FAX 番号	045-370-5230
現在運営している施設名	所在地	運営開始年月日	
横浜市ほどがや地区センター	保土ヶ谷区天王町 1-21	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市西谷地区センター	保土ヶ谷区西谷町 918	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市初音が丘地区センター	保土ヶ谷区藤塚町 15-1	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス	保土ヶ谷区岩崎町 15-30	平成 11 年 5 月 15 日	
横浜市峯小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区峰岡町 1-10	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市笹山小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区上菅田町 1422	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市くぬぎ台小学校コミュニティハウス	保土ヶ谷区川島町 1374-1	平成 17 年 5 月 15 日	
横浜市瀬戸ヶ谷スポーツ会館	保土ヶ谷区瀬戸ヶ谷町 71	平成 7 年 4 月 1 日	
横浜市川島町公園こどもログハウス	保土ヶ谷区川島町 825-1	平成 7 年 4 月 1 日	

事業計画書様式2 - (2)

1 申請団体に関すること			
(ア) 申請団体の経営方針について			
(イ) 申請団体の事業実績(活動実績)について			
(ア) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針について			
保土ヶ谷区区民利用施設協会の経営方針は次のとおりです。			
1 区民のニーズに応え、公共的かつ公平性を担保した区民利用施設の管理運営を行うこと			
2 区民の自主的な活動の支援を通じて、区民を主体とした活力とふれあいのある快適な地域コミュニティの醸成に寄与すること			
3 効率的かつ効果的な区民利用施設の運営を行うこと			
4 公の施設の管理運営の実績等を生かし安定した経営に努めること			
(イ) 保土ヶ谷区区民利用施設協会の事業実績(活動実績)について			
保土ヶ谷区区民利用施設協会は、平成7年4月1日に地区センター3館・コミュニティハウス2館・こどもログハウス及びスポーツ会館の合計7館で運営を開始し、コミュニティハウス2館(既設施設転用型1館・学校施設活用型1館)を加え、今日9館の運営管理を職員97名で実施しています。			
この間、地域に密着した運営に努め、利用者の拡大に努めてまいりました。			
また、自主事業につきましても、利用者のニーズを取り入れた講座等を実施するなど取り組んできました。平成17年度の利用実績は521,839人となっています。			
各館の利用実績は、次のとおりです。(平成17年度)			
施設名	延べ利用者数	自主事業数	参加延べ数
ほどがや地区センター	143,570	24(78回)	4,440
西谷地区センター	115,789	20(57回)	5,925
初音が丘地区センター	71,181	27(132回)	4,793
桜ヶ丘コミュニティハウス	37,635	21(61回)	1,129
峯小学校コミュニティハウス	10,589	3(27回)	587
笹山小学校コミュニティハウス	7,546	9(156回)	3,621
くぬぎ台小学校コミュニティハウス	2,928	3(48回)	83
瀬戸ヶ谷スポーツ会館	15,437	4(12回)	63
川島町公園こどもログハウス	29,209	10(31回)	1,419

事業計画書様式2 - (3)

2 桜ヶ丘コミュニティハウスの管理運営に対する基本理念に関すること

(ア) 上記施設の管理運営を希望する理由について

(イ) 申請団体における桜ヶ丘コミュニティハウス管理運営の位置づけについて

(ウ) 保土ヶ谷区の特徴や上記施設の設置目的と、運営への反映の考えかた

(ア) 桜ヶ丘コミュニティハウスの管理運営を希望する理由について

保土ヶ谷区区民利用施設協会は、平成7年4月1日より今日まで約10年2か月余にわたり地区センターやコミュニティハウスなど区民利用施設を管理運営してきた実績があり、区民にとって使いやすい施設とは何かを第一に考えながら日々努力を重ね現在に至っています。

また、利用者のより一層の拡大を図るため、事業を通して形成された自主グループの育成を支援し、地域コミュニティの醸成に寄与してきました。

区民利用施設の管理運営そのものが協会の使命であり、区民利用施設の管理運営なくして協会そのものが存立し得ないものであります。今までのノウハウを生かし、さらに区民に貢献いたしたい。

(イ) 保土ヶ谷区区民利用施設協会における桜ヶ丘コミュニティハウス管理運営の位置づけについて

桜ヶ丘コミュニティハウスは区の南部に位置し、子どもから高齢者まで幅広い利用者があります。そのため、多様なサービスが求められています。保土ヶ谷区区民利用施設協会が管理運営している他の地区センター、コミュニティハウス等との連携をさらに図りながら、地域の住民の方から喜ばれ、利用したくなる区民利用施設としていきます。

(ウ) 保土ヶ谷区の特徴や桜ヶ丘コミュニティハウスの設置目的と、運営への反映の考えかた

横浜市の中で保土ヶ谷区の高齢化率は、5番目の17.6%となっており、また地形的にも中心市街地に隣接した落ち着いた既成市街地といえます。そうしたことから、区全体では高齢者の生きがいの場づくりが重要なテーマであります。一方、それだけ地域での青少年に対するかかわりは薄くなっていると思われ、児童をはじめ青少年に対する地域での健全育成に社会全体で手を差し伸べることが重要であると考えております。

平成11年に青少年図書館から転換し、コミュニティハウスとして運営を始め7年が経過しましたが、当初15,000人の利用者が37,000人に増え定着したのとなっており、

幼児から高齢者まで偏りが少なく幅広く利用いただいている地域の皆様に、満足いただくとともにコミュニティ形成にも努めていきます。

事業計画書様式2 - (4)

3 桜ヶ丘コミュニティハウスの管理運営に対するニーズ等の把握に関すること

- (ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方
- (イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方
- (ウ) 他施設や併設施設との連携について

(ア) 地域の特徴のとらえ方と、運営への反映の考え方

最寄りの鉄道駅からは、徒歩では距離があり、周辺は落ち着いた住宅街となっています。3世帯で暮らす家族も多く、利用者の多くは良識的で挨拶もしっかりしており、マナーも落ち着いたものとなっています。

地域との関係づくりは、地域の代表者との関係を密にすることが最も重要と考えています。既に桜ヶ丘コミュニティハウスの運営を共に担っていく運営委員には、地元自治会代表、青少年指導員会長、老人クラブ代表、小中学校長、利用者代表などの地域の指導者に入っていていただき、いろいろな事業、活動を通して地元住民参画の円滑な運営ができていると考えます。こうした多くの地域の代表者の意見を聞くことにより、地域のニーズをさらに運営に反映してまいります。

(イ) 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と、運営への反映の考え方

前段で述べた運営委員の方の協力を得て地域ニーズをとらえていきます。当施設は平成10年に青少年図書館から転換した経緯から図書機能が充実(約23,000冊、地区センターは8,000~10,000冊)しており、主要業務のひとつとなっています。

図書に関しては、利用者が読みたい本がない場合、館内にあるリクエストカードに記入し、提出してもらう方法を採用しています。また、本の検索については、スタッフ・リーダーがコンピューターにより対応しています。その名のとおり、スタッフ・職員がなるべく利用者とのコミュニケーションを通して、地域ニーズや利用者ニーズをとらえるようにしています。

(ウ) 他施設との連携について

他の地区センターや公共施設とも離れた距離にあり、連携の取りにくい地理的条件にあります。しかしながら、近隣には小中学校もあり、自主事業活動には児童・生徒の積極的参加が見られます。部活児童とトロンボーン奏者との共演、小学生対象の数々の事業への参加、変わったところでは不登校生徒についての中学校との情報交換などがあります。

事業計画書様式2 - (5)

4 桜ヶ丘コミュニティハウスでのサービスの提供に対する考え方

- (ア) サービスの提供に関する基本的な考え方
- (イ) 会議室等の利用に関する取り扱いについて
- (ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方

横浜市の公共施設として誰もが楽しく気持ちよく利用できるよう、公平・公正に運営管理することを基本としています。また、コミュニティハウスが地域住民の活動と交流の場であることを意識し、幼児から高齢者まで誰もが気楽に利用できるよう努め、地域の自主的な活動と相互交流を図るものであれば、広く利用を促していきます。

利用の制限については、利用に関する要綱の中で「利用の禁止」で定めていますが、明らかに他の利用者の迷惑にかかる利用や営利活動など、最小限にとどめます。

(イ) 会議室等の利用に関する取り扱いについて

部屋の利用については、基本的には公平公正を旨とします。会議室は小さな会議室が二つ（10人用・18人用）あります。基本的には団体登録していただき利用してもらっています。囲碁などは個人が4人以上集まった場合には登録してもらい、個人利用に近い形で利用してもらっています。

(ウ) 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

文化活動・地域活動についての情報は、各施設からのちらし・ポスターを館内に掲示しており、相談に適切なアドバイスができるようにしています。個々のスタッフ・職員が利用者とコンタクトする中で相談や助言の対応を行っています。

事業計画書様式2 - (6)

5 事業の実施に関すること

(ア) 自主事業計画に対する基本的な考え方

※具体的な自主事業計画については別紙事業計画様式3、4に記載してください。

環境的に落ち着いた住宅街が近隣に広がっています。マンションは最近少し建ち始めたが、戸建て住宅が多く、また3世帯で暮らす家族が多く見られます。サークル内の人間関係も円滑でトラブル等はありません。

サークル内容では、古典文学研究・謡曲・読書会・俳句・短歌・絵画等文化的なものが多いが、最近は多様化しつつあり、会議や打ち合わせ等で利用する地域団体も増えてきています。

地域内には各専門分野に優れた人材が多く、自主事業について講師やコーディネーターとしてお願いし、快く協力をいただいております。

こうした環境から自主事業について

1 桜ヶ丘コミュニティハウスを地域文化の拠点として継続していく

折り紙・俳句・書道など日本の伝統文化的なものを取り入れる。

2 対象・年齢層を偏ったものとせず、年代を超えたコミュニケーションが取れるような自主事業とする。

親子でリズム・親子で参加できる自然観察会など

3 図書機能の充実、活用を図った自主事業を企画する。

絵本(本)との関わりをつなぐものとしての話の会・人形劇・本の読み聞かせ講座など

なお、講師については当館地域に在住している方をさらに発掘し、また、関係講習会等で得た情報を基に選定していきます。

事業計画書様式2 - (7)

6 施設の運営に関する考え方

- (ア) 指定期間中の運営に関する基本の方針について
- (イ) 効率的運営のための具体的な計画について

(ア) 指定期間中の運営に関する基本の方針について

- (1) 幅広い年齢層やさまざまなニーズに対応し、異世代交流も推進できる多彩な事業を展開するとともに、その講座を通して形成された自主グループを支援し、併せて地域のリーダーの育成を目指します。
- (2) 地域の拠点として関係機関・団体との連携を図り、地域愛を醸成するような事業実施に努めます。
- (3) 効率的・効果的な管理運営の実施、利用者サービスの向上に努めます。

(イ) 効率的運営のための具体的な計画について

管理運営を合理的に行うため、会計経理、労務管理を区民利用施設協会事務局が一体的に行うこと、また、いくつかの区民利用施設の管理運営を行っているスケールメリットを十分生かし、経費を節約し管理費の縮減に努めてまいります。

また、経費節減のため、作業担当業務の外部委託化を検討します。

事業計画書様式2 - (8)

7 施設の運営に関する職員体制・情報保持等の考え方

- (ア) 職員の配置及び採用について
- (イ) 職員の研修計画について
- (ウ) 個人情報の保護の措置について

(ア) 職員の配置及び採用について

常勤職員 館長1名(初音が丘地区センタ館長が兼務)、
副館長2名(ローテーション勤務)

時給職職員 スタッフ8名

- (1) 館長・コミュニティリーダーについては、広く人材を求めて一般公募(経験者を含む)し、意欲のある人を配置します。
- (2) 時間給職員は、地域性を考慮して近隣の区内在住者を一般公募により採用していきます。

(イ) 職員の研修計画について

近時、区民のコミュニティハウスに対するニーズが多様化してきており、これらのニーズに適切に対応するためには、職員一人一人の能力向上はもちろんのこと、利用者サービスに徹する館運営が求められています。そこで協会では、

- ・区民利用施設協会職員として、採用時待遇研修を全員に実施しています。
- ・年1回全職員を対象にした集合研修に参加させ、グループごとに事例をディスカッションすることで、待遇についての意識を高めています。
- ・館長、コミュニティリーダーについては、各種相談・調整・助言が適切に行えるよう、横浜市や関係団体で行われる研修に随時参加させることで、専門知識の習得に努めています。
- ・コミュニティリーダーについては、協会事務局主催で2~3回事例討議研修を行っております。

(ウ) 個人情報の保護について

個人情報の保護に関する法律、横浜市個人情報保護に関する条例に基づくとともに、コミュニティハウス指定管理者募集要項の中で示された、個人情報特記事項につきましても厳しく守っていきます。コミュニティハウス利用者の個人情報の収集は必要最小限にとどめ、二次利用は一切行わないこととしています。

入館者記入表での個人名記入をなくし、利用団体名簿の会員氏名欄を削除して会員数のみとし、個人の氏名などの情報が他の入館者に漏れないよう配慮しています。また、団体や自主事業参加者の名簿もフロッピーディスクに保存し、パソコンについても鍵をつけるなど、セキュリティ対策を強化します。個人情報の取り扱いについては、万全の措置を講じ、こうした考え方を全職員に徹底していきます。

事業計画書様式2 - (9)

8 緊急時対策について

(ア) 防犯、防災の対応について

(イ) その他、緊急時の対応について

(ア) 防犯、防災の対応について

防犯については、緊急時のときの通報を警備会社等と契約しており、万全を期しています。火災時等については、消防計画に沿って避難誘導できる体制作りをしています。

なお、防災・防犯については、いずれも区地域振興課に報告し、その対応を協議します。

(イ) その他、緊急時の対応について

1 職員・スタッフが防災協会の行う普通救命救急法を取得し、館内の万一の事故発生時に対応できるようにします。習得者を順次増やしていきます。

2 地域の関係団体と連携をとり、緊急時には相互協力できるようにします。

平成 19 年 横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区民利用施設協会

	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
1. 子どもの おりがみ教室	幼児・小学生	0	0	0	0	0	0
	12 人						
	無料						
2. 夏休み 工作教室	幼児・小学生	11,000	6,500	4,500	6,000	5,000	0
	15 人						
	300 円						
3.子どもエコ工作	小学生	7,500	7,500	0	6,000	1,500	0
	15 人						
	無料						
4. 子ども お菓子教室	小学生	11,000	6,000	5,000	6,000	5,000	0
	10 人						
	500 円						
5.七夕のおりがみ	幼児・小学生・一般	6,000	6,000	0	6,000	0	0
	15 人						
	無料						
6.わくわく 3回 おはなしの会	幼児・小学生・一般	9,000	9,000	0	9,000	0	0
	15 人						
	無料						
7.おはなし会 6回	幼児・小学生・一般	24,000	24,000	0	24,000	0	0
	15 人						
	無料						
8. 人形劇 2回	幼児・小学生・一般	30,000	30,000	0	30,000	0	0
	40 人						
	無料						
9. おやこ リズム体操	幼児と保護者	24,000	24,000	0	24,000	0	0
	10 組						
	無料						
10.桜ヶ丘子育て サロン	幼児と保護者	16,000	16,000	0	16,000	0	0
	15 組						
	無料						
11. 中国家庭の 朝ごはん ①、②、③	一般	61,000	37,000	24,000	30,000	21,000	10,000
	10 人						
	800 円						

平成19年 横浜市桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
12.製本講座	一般	55,000	32,500	22,500	40,000	15,000	0
	15人						
	1,500円						
13. ちょっとむずかしいおりがみ ①、②	一般	4,000	0	4,000	0	4,000	0
	10人						
	200円						
14. クリスマス飾り作り (保育有)	一般	50,000	20,000	30,000	12,000	30,000	8,000
	15人						
	2,000円						
15. エコぞうり (保育有)	一般	14,000	12,000	2,000	6,000	2,000	6,000
	10人						
	200円						
16. こどもとおはなしをつなぐ講座	一般	12,000	12,000	0	12,000	0	0
	15人						
	無料						
17. フォーク・Jポップを歌おう	一般	66,000	51,000	15,000	60,000	6,000	0
	25人						
	600円						
18. 音の森林浴コンサート 「マンドリン」	一般	23,000	20,000	3,000	20,000	0	3,000
	30人						
	100円						
19. 音の森林浴コンサート 「オカリナ」	一般	23,000	20,000	3,000	20,000	0	3,000
	30人						
	100円						
20. 音の森林浴コンサート 「パーカッション」	一般	23,000	20,000	3,000	20,000	0	3,000
	30人						
	100円						
21. はじめてのヨガ	一般	42,000	27,000	15,000	42,000	0	0
	10人						
	1,500円						
事務費		19,500	19,500				19,500
合計		531,000	400,000	131,000	389,000	89,500	52,500

事業ごと別紙に記載してください。

横浜市 桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業別計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親と子どもがいっしょに楽しむシリーズ 2.夏休みこども 工作教室 5.七夕のおりがみ 9.おやこリズム 体操 10. 桜ヶ丘 子育てサロン	親子が一緒になって作業を進めることで、ふれあいを深めることがねらいのシリーズ。 「七夕のおりがみ」と「夏休みこども工作」は毎年人気の事業である。「おやこリズム体操」と「子育てサロン」は、未就園児と保護者を対象にした子育て支援の一環事業。これらの事業をきっかけに未就園児が自由に遊べ、保護者の友達作りにも有用な多目的室を周知する一助にもなる。	・夏休みこども 工作教室 7月 1回 ・七夕のおりがみ 7月 1回 ・おやこリズム体操 1月～2月 4回 ・桜ヶ丘子育てサロ ン 時期未定4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生活を豊かにする シリーズ 14. おしゃれな おりがみ 15. 中国家庭の 朝ごはん 16. クリスマス飾り 21. はじめてのヨガ	生活に彩りを添えるおりがみの講座は定期的に実施。 昨年度実施した中国料理教室が反響をよび、すぐに定員に達したため、今年度は中国家庭の朝ごはんを中心とした料理教室を実施する。中国人の食生活を含めた日常生活の話を聞きながらの調理は相互交流にも役立っている。当館は料理室がないため、講師や職員の協力を仰ぎ、メニューを工夫している。 昨年は講師と調整がとれず実施できなかったが要望の多いクリスマス飾りを今年度は是非実施したい。 今、人気のヨガ。当館では初めての講座で、健康増進やリラックス効果を狙う。	・ おしゃれな おりがみ 時期未定 2回 ・ 中国家庭の 朝ごはん 時期未定 3回 ・ クリスマス飾り 11月 1回 ・ はじめてのヨガ 時期未定 7回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
豊かな地域作りに役 立つシリーズ 17. 製本講座 18. フォーク・Jポッ プを歌おう	図書に関心がある利用者が多い当館の特徴を生かし、製本講座を実施する。製本、本の修理を学び、将来的には覚えた技術を地域に還元するサークル作りを支援したい。 当館で人気の「歌う」講座。本年度はフォーク・Jポップを取り上げる。高齢者の参加が比較的多かった「童謡を歌うシリーズ」により若い世代が参加し、高齢者との間の相互交流を期待している。	・ 製本講座 7月～9月 5回 ・ フォーク・Jポッ プを歌おう 時期未定 6回

横浜市 桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業別計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音の森林浴 コンサートシリーズ 18.ウクレレとベース 19.フルートと オカリナ 20.パーカッション	音楽の楽しみ方はいろいろだが、その美しさや楽しさを最も味わえるのは、生の演奏を聴くことにあると思う。しかし、近年の音楽会はホールも大きく、チケット代も高いので、演奏家との間に距離を感じることが多い。 そこで当館では、できるだけ身近な音楽家に来ていただき、サロン風に生の演奏を目の前で味わってもらいたいと考えている。演奏の楽器も小さな会場にふさわしいものを選んでいますが、なじみのない珍しい楽器の演奏にもふれることができるよう奏者に依頼している。	・ 時期 未定 全3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子どもと絵本をつなぐシリーズ 6. わくわく おはなしの会 7. おはなしの会 8. 人形劇 16. 子どもと絵本をつなぐ講座	当館は以前、青少年図書館だったこともあり、図書貸出し業務が中心となっている。 子どもたちが絵本や本に親しみを持ち、それらを読む楽しさを味わうため、これまで「おはなしの会」と「人形劇」を実施してきた。この事業は毎回好評につき、引き続き実施していきたい。また、昨年度自主事業「わくわくおはなし講座」(おはなしの会の講師養成講座)の修了者の活動も軌道に乗り、今後、地域で活躍の幅が広がるよう支援していきたい。 保護者に向けては講演会を行う。子どもと絵本の出会いの大切さを伝え、蔵書を十二分に活用してもらおう講座。	・ おはなしの会 奇数月 6回 偶数月 3回 ・ 人形劇 7月・12月 各1回 ・ 子どもと絵本をつなぐ講座 時期未定 2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
エコシリーズ 3. エコ工作 15. エコぞうり	小学生を対象に、身近な材料を生かす工作。成人向けには着古したTシャツ、捨ててしまいそうな古いゆかたを使ったぞうりづくり。これらの作業を通して、物を大切に作る心を養うと共に、環境に対する関心も深めてもらいたいと考えている。	・ エコ工作 時期未定 1回 ・ エコぞうり 6月 1回

横浜市 桜ヶ丘コミュニティハウス 自主事業別計画書

団体名 保土ヶ谷区区民利用施設協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
<p>子どもの体験シリーズ</p> <p>1.子ども おりがみ教室</p> <p>4.子どもお菓子教室</p>	<p>子ども達が自らの手で作り上げる達成感を体感させる講座。</p> <p>日本の伝承文化である「おりがみの講座」は当館が青少年図書館当時から続けている人気講座。今年度も引き続き、おりがみの楽しさを子どもたちに伝えたい。</p> <p>お菓子作りでは、学年の違う子どもたちが協力してお菓子を作り上げていく過程で他人への思いやりを学ぶことができる。</p>	<p>・子ども おりがみ教室 時期未定 2回</p> <p>・子ども お菓子教室 2月 1回</p>

平成19年度桜ヶ丘コミュニティハウスの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)		①+②+③=A	21,563
項 目	①委託予 定額		21,432
	②利用料 金収入		0
	③その他 収入	自主事業参加費	131
支出合計(B)			21,563
項 目	人件費	常勤職員(館長0名、副館長2名)、時給職員スタッフ・ アルバイト(11名)法定福利費(社会保険料、健康診 断料、福祉共済掛け金)通勤費	14,464
	事務費	旅費、消耗品費、会議賄費、印刷製本費、通信費、 使用料及び賃借料、備品購入費、図書購入費、施設 賠償責任保険、手数料、諸費	1,240
	事業費	自主事業費(一般、青少年向け)	531
	管理費	光熱水費、修繕費、電気設備保守点検、消防設備保 守点検、機械警備、植栽剪定、建築設備定期点検、害 虫駆除、塵芥処理など	3,160
	ニーズ 対応費	運営委員会や利用者のニーズにより執行	0
	事務経費	労務経費、消費税、研修費など	2,168
収支(A)-(B)			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。

桜ヶ丘コミュニティハウス 収支予算書 【様式6 説明】

(単位:千円)

項目	支出合計	(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	
			21,563
人件費 (1)			14,464
常勤職員			7,661
給与	館長(地区センター館長が兼務) 副館長(2名)		0 6,131
法定福利費	健康保険料 厚生年金保険料 児童手当拠出金 雇用保険料 労災保険料 通勤費 健康診断料 福祉共済掛け金		328 472 6 40 34 624 14 12
時給職員			6,803
賃金	スタッフ(6人)アルバイト(2人)		6,754
法定福利費	労災保険料 通勤費 健康診断料		33 0 16
事務費 (2)			1,240
旅費			30
消耗品費			250
会議諸費			20
印刷製本費			5
通信費			150
備品購入費			150
図書購入費			600
施設損害賠償責任保険			5
手数料			10
諸費			20
事業費(3)			531
自主事業費			531
管理費 (4)			3,160
光熱水費	電気料金 ガス料金 水道料金		854 758 163
修繕費	小破修繕		200
空調設備点検熱源機器等点検	空調機点検		0
害虫駆除	年2回		45
ウォータークーラー水質検査	年1回		16
消防用設備点検	年2回 外観機能点検、総合点検		44
自動ドア点検	年2回		48
機械警備点検	常時		362
清掃業務	定期清掃年4回、窓ガラス、フロアリング他		96
植栽剪定	樹木管理		180
建築設備定期点検	年1回		104
その他	書籍管理システムサポート、塵芥処理料 空調点検		290
事務経費 (5)			2,168
労務経費			1,415
消費税			723
研修費	マネジメント、接遇、個人情報保護等、救命救急		30